

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名		ABAスクールベッピーパッチ					公表日 2026年3月31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	基準の通りです。	基準の通りです。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	83%	17%	個別療育のためこども一人に対して職員一人の配置はしています。	職員に急な休みが出た時など少ないと感じることがあるため、配置に少し余裕がほしいと思うことがあります。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	67%	17%	バリアフリーではないが環境に配慮しています。	外階段のすべり止めについて、どのようにするのがよいか検討していきたいと思えます。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日清掃消毒を実施しています。月に2~3回フローリングにはモップがけをしています。	引き続き環境整備に努めます。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	50%	33%	個別の部屋として用意しているわけではないですが、必要に応じて相談室を使うようにしています。	引き続き環境整備に努めます。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	50%	50%	広く参画はできていないのが現状です。	非常勤職員も多いので、広く参画となると、対面ではない方法も検討する必要があるのではないかと考えます。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	必要なことは、検討して業務改善につなげるように心がけています。	日々のご意見を耳を傾けることを継続していきたいです。そのためには保護者が話しやすい環境を職員一同心がけていきたいと考えます。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	各々が責任者に意見を伝えることはしています。	引き続き、それぞれの意見に耳を傾け、改善が必要なことは検討するようにしていきます。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	17%	83%		実施していません。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	必ず実施しています。	引き続き社内研修の実施、学びの機会を確保していきたいと思えます。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	公表しています。	引き続きより良い支援のため努めます。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	資格と経験のある人がしっかりと作成しています。	引き続きより良い支援のため努めます。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	83%	17%	資格と経験のある人が担当者等に話を聞いています。	引き続きより良い支援のため努めます。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	個別支援計画書は個人ファイルに必ず入れて全員見れるようにしています。	引き続きより良い支援のため努めます。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	83%	17%	フォーマルなアセスメントは現時点では使用していません。	引き続きより良い支援のため努めます。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	83%	17%	地域支援・地域連携はできていません。	発達全体の底上げをしていかれるよう、様々な分野からプログラム作成すよう工夫しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	67%	33%	担当とも話ながら、コンサルタントメインでプログラム策定しています。	引き続きより良い支援のため努めます。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%		引き続きより良い支援のため努めます。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	50%	50%	個別療育の事業所なので集団活動は行っていません。	引き続きより良い支援のため努めます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	33%	67%	勤務時間がまちまちなので、打ち合わせは行っていないが共有や申し送りはシートに記入して残すようにしています。	引き続きより良い支援のため努めます。今後も連携を強めていきたいと思えます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	50%	50%	勤務時間がまちまちなので、打ち合わせは行っていないが共有や申し送りはシートに記入して残すようにしています。	引き続きより良い支援のため努めます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	活動記録は分かりやすく簡素にとって、なにかあれば共有シート・申し送りシートに	引き続きより良い支援のため努めます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	支援計画書の更新時にモニタリングは実施しています	引き続きより良い支援のため努めます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	83%	17%	児童発達支援管理責任者が参画していますが、継続しての支援の場合は関わりの深い職員が参画しています。	その内容は事業所内で必要に応じて共有もしています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	67%	33%	こちらからの働きかけはありませんが、情報開示が必要な際は、保護者に確認をして実施しています。	その内容は事業所内で必要に応じて共有もしています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	67%	33%	保護者からは共有いただいています。	その内容は事業所内で必要に応じて共有もしています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	67%	33%	こちらからの情報共有をしています。	その内容は事業所内で必要に応じて共有もしています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	17%	83%	今までにそういった機会がありませんが、必要に応じて行いたいとします。	その内容は事業所内で必要に応じて共有もしたいと思います。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%	機会がありません。	今後必要があれば実施検討いたします。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	83%	17%	毎利用終了後のフィードバックでご家庭での様子もうかがっています。	引き続き保護者ともコミュニケーションが取れるように努めます。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	33%		行いたいと思っていますが、まだ実施できていません。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時、個別支援計画書き換え時に説明しています。	今後もしっかりと説明します。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	初回の時及び改定の際は、保護者からしっかりと聞き取り、本人の意向を含め確認しています。	今後も確認しながら進めてまいります。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	個別支援計画書の説明の際に同意を得ています。	今後もしっかりと説明します。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	フィードバック時にコミュニケーションをとり、相談しやすい環境作りも意識しています。 タイミングが適切かどうかはわかりませんが、相談の申し込みに迅速に対応実施機会はありません。	引き続き保護者ともコミュニケーションが取れるように努めます。
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	100%		今後必要があれば実施検討いたします。
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	相談は随時申込受け付けています。	今後もしっかりと対応します。
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	33%	67%	定期的ではありませんが一斉メール送信で連絡をしています。	今後必要に応じて情報発信の充実と周知に努めます。
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	個人情報の記載されたものはすべて鍵付き書庫に管理しています。	今後も十分留意していきたいと思えます。
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	こどもたちへは分かりやすい指示や話し方を心がけています。	引き続きより良い支援のため努めます。
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	33%	67%	こちらからの働きかけはありません。	
非常時等の対応	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	各種マニュアルはすぐわかるように冊子を設置、訓練も職員間でシミュレーション	引き続きしっかりと事業所運営してまいります。
	46 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的に避難訓練や研修などを実施しています。	引き続きしっかりと事業所運営してまいります。
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	ご家族から聞き取り必要事項及び対応の仕方を確認しています。	引き続き職員間で対応できるよう周知徹底してまいります。
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	83%	17%	医師の指示書はないですが、保護者に詳細のききとりをして、対応しています。	引き続き職員間で対応できるよう周知徹底してまいります。
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	安全計画策定し、職員保護者へ周知しています。	引き続きしっかりと事業所運営してまいります。
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	安全計画に基づき一斉メールで注意喚起等しています。	引き続きしっかりと事業所運営してまいります。
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハット・事故報告書を作成し、職員間で共有しています。	引き続きしっかりと事業所運営してまいります。
52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	定期的な研修の実施、日々気付いたことの共有など実施しています。	引き続き定期的に研修を実施して常に意識して支援できるようにいたします。	
53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	職員へは虐待の研修と同時に身体拘束についても研修を実施し理解を深めてもらって	対象利用者はいませんが今後必要な場合は十分に検討し丁寧な説明を行い身体拘束の適	